



2018年 6月1日 金曜日
(平成30年)

きょうは何の日
衣替え、気象記念日、電波の日、人権擁護委員の日、景観の日、写真の日

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市
北区宮野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

知・技の創造

ものづくり大学発

▷35◁

■ものづくり産業の動向
財務省の統計によれば、2005年度以降、第1次所得収支が貿易収支を上回っている。11年度から15年度までは貿易収支は赤字でもあり、ものづくりが日本経済に対して十分な役割を果たしているとは言いがたい。

一方、サービス収支は定常的に赤字であるが、知的財産権等使用料や旅行の収支が大幅に改善し、赤字幅の減少に貢献している。つまり、国際的に見れば、「日本の技術

ーサー)がこれ以上ものを欲しないという状態になってくる。このような状況に対して「コネクティッド・インダストリーズ(日本版インタクトリー4.0)」のビジョンが

必要とされる人材の育成においては、これまでの蓄積された現場の技能・技術と共通に多様な新技術を深く理解し、それらをもつくり出す能力を涵養することが求められる。

すなわち、これからのものづくりをけん引する人材の育成には、これまでの蓄積された現場の技能・技術と共通に多様な新技術を深く理解し、それらをもつくり出す能力を涵養することが求められる。

と視られがちな「製造」からおよび幅広い教養・知識を背景として、ものづくりや製品の新たな価値を魅惑する「コネクティッド・インダストリー」の時代(総合プロデューサー)としての能力を涵養することが求められる。

龍前三郎 総合機械学科教授

新たな価値の創出に向けて



龍前三郎 東京工業大学大学院 情報理工学 研究科工学博士。同研究科情報環境学専攻助手。経済企画庁経済研究所客員研究員。2002年よりものづくりの大学に奉職。明治大学兼任講師。日本生体医工学会、日本人間工学会、計測自動制御学会。専門は計測理論・システムデザイン。

は、今年度から総合機械学科に改称した。製造学科は開学以来一貫して、主に工業製品の製造に関する工学・技術・技術・研究を行い、この分野でのものづくりのテクノロジー(総合プロデューサー)に拡充すると共に、教養・デザイン思考、試作を含む表現力などを養う授業や教育環境の整備を行っている。

ものづくりの大学製造学科(総合機械学科)としての能力の育成も重点的に取り組むこと。これまでも、授業や課外活動で学生が自主的に運営するさまざまなプロジェクトが行われていたが、これを更に拡充すると共に、教養・デザイン思考、試作を含む表現力などを養う授業や教育環境の整備を行っている。

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9040
dkeizai@saitama-np.co.jp